

# 地域の「輝く人」紹介

## 金剛ヶ丘自治会活動協力隊

先頃、齋宮地区金剛ヶ丘自治会で自治会活動協力隊が結成されました。実はこの有志の協力隊、34名の隊員さんのうち40代以下の方が半数近くを占め、最高齢86歳の隊員さんも含め、多世代で支え合い活動を展開されています。活動日に隊長（自治会長）松嶋さんと副隊長鎌倉さんにお話を伺いました。

自治会内では高齢化が進み、出合いに出られない住民さんや、生活上の困りごとを抱えてみえる方が増えていました。そんな事態を受けて、鎌倉さんをはじめ皆で協力隊を結成する事が検討され、昨秋に規約改定をもって誕生しました。

冒頭に触れた若い人たちの地域活動への参加について、御年72歳の鎌倉さんはこう言います。「若い人に気持ちをどう伝えるか。ここが一番大事。若い人が地域の事を思っていないのか？そんな事はないのです。自分から若い人たちの中に飛び込んでいき、若い人の話に耳を傾ける。そうする事で若い人たちの思いを教えてもらいました。昔はこうだったと押し付けない様にしています」。取材当日も若いお父さんがお子さん連れで活動に参加されていました。「自分たちの住んでいる地域の事に参加することは自然なことです」。そうお話しして下さる方もいらっしゃいました。活動中、隊員さん同士が和気藹々とお話をされている様子を見て、インタビューで聞かれた「自治会内で顔見知りを増やしたい」という鎌倉さんの言葉が思い出されました。

自治会内の高齢者のお宅から、草ひきや樹木の伐採の依頼にも応えてみえる協力隊。今後の展望について伺った所、松嶋さん、鎌倉さんは「最初からこうしていこうと決めるのではなく、隊員みんなと一緒に考え決めていきますよ。」と言われました。金剛ヶ丘ではこれまで地域を支えてきた人たちの思いが、自然な形で次世代に引き継がれています。

地域をもっと良くしたい！そんな活動を是非取材させてください！

担当：総務・地域福祉課 山田・西中



副隊長鎌倉さん（右）と役員さん



取材当日は総勢28名で川掃除。前もっての人数集めはせず、門戸をひろくしてお知らせすると、隊員以外の方も含めたくさんの方が集まるそうです。



活動後、隊員同士で談笑されていました



金剛ヶ丘のK協力隊のKを表してます  
隊員番号は活動中の万が一の際、  
ご本人確認にも活用されます。